

スーペリアーをみつけた。

エイゾウ

はじめに

サクネンあきにかきあげ、いまやつとヘンシユウにはいった。それもイツケン、ニケンほかのしごとをしていたからだが、データになるとケンサクしやすいうメリットがある。ゴズンジのかたもおられようが、わたしのズイヒツは、テーマごとにまとまっていない。だから、あるテーマのギロンのすすみぐあいは、ケンサクによってハアクするのがもつともはやいホウホウである。ダイジなテーマについては、おぼえているつもりだが、それでもふりかえることがある。そういうイミでゲンダイブンメイにおセワになっている。

もうさくらがさきはじめ、まもなくマンカイになるという。そうやってダンダンとしをかさねていく。「わたし」もそうだが、エル(ウインドウ)はつづいていく。そして、そのエルをつづけるためにも、ブツシツがサイリヨウされればいとおもう。その「リサイクル」がいまのわたしのとおおきなテーマである。

ニセンジュウキュウネン サンガツ ニジュウハチニチ

イチ

ケイザイのことをはかるのに、「コクナイソウセイサン」というスウジをつかったりする。それはシジョウでのうりあげなどのスウジをもとにケイサンされるのだろう。そういうスウジをもっていないければ、ケイサンできない。ギョウセイキカンだから、そういうケイサンができるのだろう。しかし、イッパンには、そのもとデータがしめされないために、まちがったジョウホウでも、まかりとおるかもしれない。

わたしは、ケイザイのことは、ドウロをはしるくるまをカンサツしてはかればよいとおもっている（『むしのツゴウ ニンゲンのツゴウ』『イカ、『む』ヒャクジュウイチ、『む』ヒャクハチ、『アルクカラ カンガエル』『イカ、『ア』ニヒャクサンジュウイチ、『ア』ニヒャクニジュウゴ）。あそびではしるくるまもあるが、にもつをのせたカモツシヤがはしっているのもジジツである。さすがに、そのなかになにをつんでいるかまではみえないが、それらがおぼれるということは、ジュンスイなケイザイカツドウである。ヘイキンテキナカモツのねだんをケイサンすれば、あとはカモツシヤがどうはしるかで、ケイザイのカンサツができる。

はしるかずつがおおければ、ケイキはいいだろうし、すくなければ、ケイキはわるい。それ

をジンコウエイセイからカンサツすれば、ケイザイジヨウタイがはかれるとおもうのである。しかし、それをやっているとはあまりきかない。シヤカイガクでも、ブンケンケンキュウとジツチケンキュウがあるが、ブンケンケンキュウのホウがさかんなのかもしれない。しかしながら、ジツチケンキュウのホウがおもしろいとおもうのである。

二

「ガマン」ということばがある。サイキンはあまりきかれなくなったかもしれない。わたしのちいさいころは、おやじに、なにかたべようとしたところ、バンゴハンまで「ガマン」しろといわれた。しかし、わたしは、そのガマンがにがてだった。わたしのトウジのニンシキでは、ガマンするというのは、なにかをする、「もとめる」ことをやめる。ということだった。

しかし、サイキンになつておもうのは、「ガマン」の「マン」というジがしめすように、なにかをおくらせることではないかということだ。つまり、「ガツキをかうのをガマンする。」というときには、「ガツキをかうのをやめる。」のではなくて、もっとチョウキテキに、「かう」

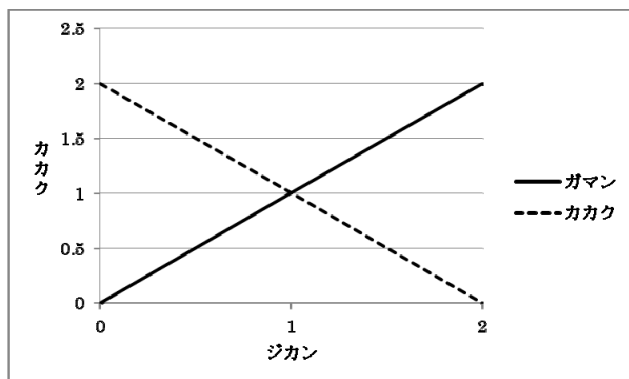
ということだ。たとえば、イチネンとかゴネンのながさでだ。

そうやって、ゆっくりかうとどうなるか。うりては、そのブンだけうりづらくなるから、やすくしたりするかもしれない。そうすると、ガマンしたブンだけやすくかえるかもしれない。しかし、みんながかうしなものもあるので、たとえばシヨクリヨウなど、ガマンすればやすくかえるとはかぎらない。うりきれてしまうこともある。

そうやって、ガマンすることを「デフレケイザイ（ゲンインについては、セツチョ『オンガクイチエンのジダイ』『イカ、『オ』をサンシヨウ。●『オ』ヒャクサンジュウゴ）」というかも知れないが、それはまたベツのモンダイのようなきがする。デフレはおかねのながれでセツメイできるからだ。だから、「ガマンケイザイ」とよぶことにする。

そのガマンをとこうと、うりてはやすくする。うれなければこまるメンがあるからだ。そうやってかんがえると、カカクというのは、かいてからのジカンテキキヨリでこまるようなきがする（ズイチ）。つまり、かいてからのジカンテキキヨリがみじかければ、たとえば、あしたとか、たかくてもかうだろうし、もつとききだと、やすくしないとかわれない。だから、シヨウヒアドバイザーみたいなひとがいれば、「あれはおかいどくです。」とか、「そのシヨウヒンはジュウネンゴにかうようにしましょう。」とかいえそうなのである。

ズイチ



サン

「まとめがいをするとおとくだ。」のようにひとはいう。たしかに、イツコではなくて、イチケースかかってしまったホウがやすかつたりする。つくるホウも、まとめてかかってくれたホウがやすくうれるというのがある。ジムテキナコストがやすくできるからだ。リヨウシユウシヨをジユウマイかくより、イチマイですめば、そのブンジカンをはかのことにつかえる。やはりつくるホウとしては、それをイシキせざるをえないかもしれない。

それなら、「レイゾウコゴジウネンブン」とかうっていてもよさそうだが、あまりそういうはなしはきかない。さすがにいつこわれるかは、ヘイキンチはケイサンできても、コベツテキナそれまではケイサンできないのであろう。

そういうわけだから、まとめうりでヒヨウをサクゲンしようとおもうのである。イミもなぐヨンサツのホンをまとめたらうれるであろうか。ニホンでは、うすいホンはやっているが、そういうやりかたのホウがうれるのではとおもう。

よん

むくどりがわたしのヘヤのとぶくろにシガツはじめから、すをつくりはじめて、そろそろたまごをうんだとおもわれる。すをつくっているときは、かれくさをくわえていたから、なかなかだったが、サイキンまたなくようになったからである。たまごにはなしかけているのかもしれない。

ほかのとりにつかりにくいところとはいえ、シンパイのようだ。しよっちゆうたずねてくる。よるはよるでイツシヨにやすんでいるのか、あるとき、わたしがテツヤでしごとをしていると、むくどりがねぼけたようにとぶくろにぶつかっていた。わたしがシイデイをならしてうるさかったのだろう（シヨウオンリヨウだった）。だから、シイデイをならすのをとめた。

とりとセイカツしていると、そういうきくばりもヒツヨウかもしれない。ニンゲンもデントウがなかったら、よるはすぐにねてしまうだろう。しかしながら、わたしはそういうゲンダイテキナセイカツをしている。

ゴ

ニジュツセイキは「マスメディア」がはやった。ここでの「マスメディア」とは、「ドクシヤ」、「シチョウシヤ」スウのおおいジョウホウバイタイのことである。テレビやシンブン、ラジオなどは、ドクシヤ、シチョウシヤがイツセンマンニンをこえることがある。そういうマスメディアである。

しかし、ハチジュウネンダイからのコセイカのシンテンにより、ニホンジンは、かならずしもネンマツのうたばんぐみをみなくなつたし、シンブンをよまないわかいひともしふえただろう。かわりにいまでは、ドウガトウコウサイトをみたり、オンガクききハウダイサービスをきいていたりする。

それらは、キゾンのテレビ、シンブンなどからすれば、チョウセンシヤである。まえにもかいたが、テレビのひとりイチジカンあたりのヒヨウはゴエンテイドだが、オンガクききハウダイのサービスは、ひとりイチジカンあたりヤクイチエンである(●『オ』ヒヤクサンジュウハチ)。ドウガトウコウサイトもそのテイドだろう。テレビはコウコクでまかなわれているのだけれども、もつとやすいイチジカンイチエンのホウにひとのカーソル(イシキのむき)があつまることはヨウイにソウゾウできる。

だから、そのチョウセンシヤのエイキョウで、キゾンのおおてバイタイは、セイサクヒを

けずり、うりあげをおとしているときく。シイデイもホンもまえよりうれなくなつたという。それはそうだ。シイデイはかつてイチマイサンゼンエンだったが、ききホウダイでイチジカンイチエン。どっちがおとくかはタクサンのオンガクをきくひとならコウシヤだろう。

ホンやザツシもよみホウダイがふえつつある。エイガやアニメもそうだ。ひとりイチジカンあたりイチエンというのが、チョウセンシヤのチョウセンだから、チョウセンシヤがこないかぎり、ほかのジョウホウもそのカカクにちかづくだろう。たかくねだんをセツテイすればうれなくなるだけだ。だから、コウコクもひとりイチジカンあたりイチエンが、トウメンのスタンダードとケイサンできる。

つまり、ヒヤクマンニンにシチヨウしてもらえるジョウホウなら、ヒヤクマンエンうりあげられるということだ。イツセンマンニンならイツセンマンエン。つまり、イチダウندوقドあたりイチエンということだ。そのチョウセンシヤのキジュンにテレビキョクやほかのジョウホウバイタイはあわせきれないから、しばらくは、キゾンのおおてバイタイとつきあつていれば、ひとりイチジカンあたりサンエンとかのねだんで、サクヒンをつかつてもらえることもあるだろう。

しかし、それはながつづきしないだろう。そういうスタンダードにあわせるジョウホウバ

イタイがふえれば、それぞれがドクシヤ、シチョウシヤをかかえるまるでザツシのようなミディアムのジダイがくるかもしれない（マルチメディアとサイキンはいわなくなつたが）。テレビというのはキョウリヨクなデンパだが、そのブニコストもかかるだろう。テレビとウコクとシチョウシヤとタイリヨウハンバイテンとコウバイシヤというのは、（アメリカ）ガツシユウコクがうんだテレビシホンシユギだが、ニホンジンがそれからリダツするひもくるかもしれない。

ゴヒヤクマンニンしかみないテレビバングミなら、ゴヒヤクマンエンでウンヨウするようだからだ。それではやっていけないだろう。そういうかんじでブンサンがたのミディアムがテイチャクするかもしれない。

ロク

シイデイがうれなくなつたジダイ（かつて、わたしはシイデイのジツセイカカクをケイサシした。そのカカクは、ニヒヤクジュウエンほど。●『よろこぶゲンシジン』（イカ、『よ』ハチジュウキュウ）のオンガクアーティストはショーをやってかせぐのがいいというはなし

をきく。

しかし、それにもゲンドがあるとおもう。シヨールをやつてかせぐまではよいが、そのシヨールのエイゾウがキロクとして、ドウガトウコウサイトなどにコウカイされてしまうからだ。そうすると、シヨールのエイゾウがふえ、やがて、そのゼンブのカカクがゲラクしてしまう。データのカカクゲラクというわけである。

そうすると、そのエイゾウから、コウコクシユウニユウをえていたところ、それがへつてしまうことになる。それでもすきなひとはささえるだろう。しかし、アイコウシヤがふえなければ、むずかしいとなる。

シヨールもシヨールでニホンではえらくたかい（ななセンエンなど）から、かねのあるアイコウシヤしかあつまらない。オンガクがイチジカンイチエンのジダイ（●『オ』ヒヤクサンジユウハチ）に、イチジカンハンでななセンエンじゃ、フツウのひとはどちらをえらぶかとなる。

そのプレミアムシヨールがどこまでつづくかは、キョウミぶかいが、ポップスもキゾクのためクラシックになつてしまつたかもしれない。

なな

わたしはチュウガクセイのころからヘンサチとつきあうようになった。たかがヘイキンチからのキヨリをはかるスウジだが、それによって、シンロがサユウされるのはなんとなくわかった。ただカクリツテキにアンテイしたシンロをえらべるということだが。どこのコウコウが、はいるのがむずかしいのかなどは、まとめられたガツコウアンナイをみているうちにわかった。

それでわたしもがんばればよかったかもしれないが、ザンネンながら、キヨクをつくったり、バンドカツドウをしたりするのにキヨウミがあった。おまけにテレビゲームがはやったセダイだ。それからもしばらくゲームをやりつづけた。コウコウはいかなくなつたが、オンガクやゲームはやめなかつた。オンガクをつくつていたが、ゲームもつくろうとおもつたことがある。キカイがそろわずジツサイにはつくらなかつたが。

しかし、オンガクのみちはきびしい。トクにいまはイチダウンロードあたりイチエンの（ムリヨウのものもコウリヨするともっとひくいだろう。）ジダイだ（●『オ』ヒヤクサンジュウハチ）。せめてネンカンヒヤクマンダウンロードされなければセイカツできない。「だから、

「アルバイトをするんだ。」というかもしれないが、ガツキをかって、コンピューターをかってとやっていたら、アルバイトでかせいだおかねなど、すつとんでしまうだろう。

わたしは、オンガクのためにアルバイトはあまりしなかったが、ダイガクにいくためにしたことがある。シュウいつかはたらいても、ダイガクのやすみカンには、もうひとつアルバイトをしても、ガクヒでほとんどきえていった。ダイガクもかねのかかるゲームかもしれない。

しかし、いいガツコウにはいり、いいセイセキならば、いいキギヨウにとめられるというわきみもないものがあつた。ただ、わたしは、そのさきのシンロより、ダイガクでは、そのゲームジタイがすきなつてしまった。いまかんがえれば、そういうゲームはジブンのヘヤでやればいいとおもう。ダイガクインにもいきたいとおもつた。しかし、そんなにかせぎがよくなかったのだから。ショウガクキンをリヨウしても、かえせるかわからない。こういうガクセイもいた。

しかし、よかつたのは、ジブンではたらいで、おかねをだしてガツコウにいったことだ。それによつて、ジブンがどのくらいできるのかとわかる。もつとしごとができるひとはもつとかせいでいただけるうし、もつとかせいでいないひともいたかもしれない。ガクギヨウのへ

ンサチよりも、ジブンのロウドウシジョウにおけるチンギカカクのホウが、よりシヤカイテ
キナシヒョウだとおもう。

キセイがあつて、ジキュウゴヒヤクエンはダメとかがあるが、あなたのジキュウはななヒ
ヤクエンですとかチュウガクセイのときにしめされていればよかつたかもしれない。ガッコ
ウでガクギョウをがんばれば、ジキュウはあがつただろうか。ブンケイのばあい、そうもい
えなそうなのである。ガクギョウウンヌンよりサギョウのはやさとかニンゲンセイがダイジ
だつたかもしれない。

オンガク、ゲーム、ガッコウのつぎのわたしのキョウミはホンだ。ジュウネンほどまえか
ら、ホンをタクサンよむようになり、いまではホンをかけるようになった。オンガクはケイ
サンしてみても（さきのような）、むずかしいとわかつた。ゲームもつくるキザイがない。ホン
はつくっているがどうだろう。ホンもケイサンすればむずかしいかもしれない。イチジカン
イチエンだからジュウジカンでよめるホンだつたら、ジュウマンダウンロードされなければ
セイカツできない。いまのところジュウマンダウンロードにはとどかない。

こうやって、ゲンジツテキなスウジでしごとをえらんでいくといいとおもう。あかじをだ
してつづけるのもいいだろう。そういうシジョウのドウコウをみてのケイカクだと、イツサ

クをつくるのにかける（とおもわれる）ヨサンがきまつてくる。わたしがシイデイをつくるのにかけるヨサンは、コーヒージュツパイブンほどである。

ケイサンするとそういうことがわかる。おおもものアーティストだつて、ゴヒヤクマンエンテイドしかかけられないだろう。それをまあうまくやればケツカができる。それだけののはなしだとおもう。

ハチ

コウコウ、ダイガクをでて、シュウシヨクせずに、まわりにガクモンのことをセツメイするひとがいたとする。そのひとはガクモンのセンキョウシだ。ゴジブンであたらしいハツケンをし、ドクジのガクセツをもっているならいいかもしれない。そうでないなら、だれかがかんがえたキゾンのガクセツをひろめているにすぎない。オンガクではそういうソウチを「リバーブ」という。

オンガクではそれもダイジだが、シャカイではそれでかせげるわけではない。シヨセンだれかがかんがえたことをまねしているだけだからだ。ガツコウのキョウシとか、ジュクのコ

ウシでもしたホウがいいだろう。ダイガクインにいつてケンキュウするのもいいかもしれない。ダイガクインでうまくふるまえば、ダイガクのコウシになるみちがある。うまくやれば、キョウジュにもなれるだろう。

ダイガクのコウウジュになりたければ、ハクシゴウをもっていたホウがいいだろう。それがないと、キョウジュにはなりづらいだろう。つまり、「ダイガクイン」は、ダイガクのコウシとしてうまくやるためのドウグなのである。わたしもいきたいとおもったが、おかねがなくてやめた。ベツにダイガクのコウシになりたかったわけではない。チシキヨクからそうかんがえてしまった。あぶなくガクモンのセンキョウシになるところだった。

ダイガクインはそんなところだとおもうが、フツウのダイガクはどうだろう。ダイガクはサラリーマンとしてシュツセするためのドウグである。つまり、シヨウシンのためのドウグということだ。シュツセするのがすきなひともあるし、ゲンバがすきなひともある。コツカコウムインで、ジヨウキュウシヨクにつくか、カキュウシヨクにつくかのちがいがいまいないものがある。ゲンバでずつとやりたいなら、チュウソツでも、コウソツでもいいだろう。

わたしはコウコウよりオンガクをえらんでしまったので、いまでもオンガクをつくったりしている。しかし、そのむずかしさもリカイしつつある。ひとことではいえばタンカがひくい

のだ。わたしのおやがダイガク、ダイガクといっていたので、センモンガッコウというセンタクシもしらなかつた。

たしかにシュツセできたホウがいいかもしれない。しかし、センモンガッコウをでて、ゲンバではたらいっているというはなしをきくと、いいなあとおもったりする。シュツセがいいとはかぎらないとおもう。

キユウ

オンガクをひとりイチジカンイチエンでたのしめるはなしをした（●『オ』ヒヤクサンジユウハチ）。イチエンだと、そううりあげはのびないかもしれないが、ひとつかんがえようがある。それは、「どこで」うるかである。

あるトシにもイットウチはあるし、ショウテンのなかにもイットウチはある（とされる）。イットウチにおけば（おとずれるひとがおおい）、めにつくカイスウがおおいからうれるだろう。しかし、サントウチとなると、あまりキヤクのためにつかない。だからイットウチをめぐるキョウソウがおこるのではないかといえそうなのである。

どこかのデンシサイトのはじめのページにそれがショウカイされていれば、やはりつよいだろう。そういうスペースをめぐっておかねがうごきそうなきがする。ひとつは、タクサンのページのなかからの「コウゾウテキ」イットウチだろうし、もうひとつは、ページとページのイドウによるイットウチ「みちのり」だろう。

ジユウ

わたしはしばらくしたじき(ノートのしたにはさむあれである。)をつかっていたが、あれをつかうと、ペンがスムーズにうごくことがわかった。ベンリなドウグである。オフィスのつくえにも、むかしはビニールのマットがしかれていたとおもう。いまはパソコンがシユタイだろうから、あまりつかわれていないだろうが、ベンリなドウグである。

ジユウイチ

オンガクがひとりイチジカンあたりイチエンだと(●『オ』ヒヤクサンジユウハチ)、ヒヤ

クマンダウンロードされても、ヒヤクマンエンにしかならない。そうすると、セイサクヒも、ヒヤクマンエンイナイでやらなければならぬ。センダウンロードしかされないアマチュアミュージシャンのばあいは、センエンのヨサンでとなる。コーヒーをジュッパイのんだらおわりだ。そんなかんじじや、なかなかガツキはかえないだろうが、そういうヨサンをしつかりまもってつくられたものもある。ヒップホップというオンガクジャンルだ（ガツキはマイクとサンプラーぐらいしかつかわない。）。

ニホンでもキュウジュウネンダイコウハンにはやったが、そういうセイシンはダイジだとおもう。ニホンではギターイッポンのひきかたりもある。そういうやりかたがある。エレキギターやエレキケイのガツキをつかうバンドはゆたかなくにでうまれた。ゆたかだからエレキギターなのだ。ゆたかでないなら、ひきかたりでいいのでは。

ジュウニ

あるセイヒンがうれると、まあうれそうなかぎり、そのセイヒンはまたつくられる。あるサーブिसもまたリヨウされておかねがテイキョウシヤにはいりそうだと、またおなじサービ

スはつづく。

ダイタイのセイヒンにはこういうことが、いえるとおもうが、シュウキヨウはどうだろう。シュウキヨウがスイタイしたともいわれるし、ハツもうでのコンザツはかわっていないといえるとおもう。それがテイキヨウシヤ、シヨウヒシヤソウホウのリエキになれば、セイヒンドウヨウにつづくとおもわれる。イチジはやったレイカンシヨウホウのようでは、そうはつづかないだろう。

では、どのようにソウホウのリエキをもたらししているのだろう。それはしあわせになれるというカンカクなのではないか。つまり、「しあわせ（というカンカク）」をツウカのようにまわすわけである。ジツサイのツウカのばあいもあるだろう。つまり、「しあわせ」をまわしあつて「しあわせ」というわけである。

タニンがしあわせでも、しあわせということもあるからだ。シュウキヨウによってそれぞれカイリツがある。そのひとにあつたシュウキヨウをえらぶといいかもしれない。カイリツがあわないのではクロウするだろう。「しあわせ」をそのほかのシュダンでやりとりできるのなら、シュウキヨウはいらないのかもしれない。

あまりニホンジンはシュウキヨウでどうこうというひとはすくないかもしれない。ただ、

シュウキョウがつづくということ。うまくやっているということだ。

ジユウサン

あるひとがしごとをしないと、「あのひとはたるんでいる。」といわれる。ギャクに、セイリョクテキにしごとにとりくんでいると、「あのひとは、はりきっている。」といわれる。ずっと、はりきれたらいいかもしれないが、はりきることばのように、いつかきれてしまふかもしれない。

わたしは、むかし、はりきるときは、はりきって、やすみはねているというセイカツをしていた。とつととやって、ねるというイソツプドウワのうさぎのようなかんじだった。しかし、サイキンはかめがたである。タブンひとよりサギョウがおそいとおもう。エドバクフをはじめたとくがわいえやすコウも、「ひとのイッショウはおもにをにおいて、とおきみちをいくがごとし。」といいのこしている。それでときどきいやになることもある。

しかし、あまりにすぎないようにやると、やっぱり、ねてしまったりする。イソツプだとかめにまけてしまう。わたしは、こどものころからジユウにいきてきたハウだが、あまりにジ

ユウだとタイクツしたり、ねてしまったりする。だから、タシヨウフジユウがあつたホウが
ひとはいきられるのではないかとおもう。

そうおもつていたところ、いえやすコウのつぎのことばをしつた。いわく、「フジユウをつ
ねとおもえばフソクなし。」やっぱりすごいひとはすごいとおもうのである。わすれないよう
に、かけじくをおうかとおもつたが、それはタツピツでかかれていてよめない。ひとはか
ならずしも、やすきにながれないホウがいいのだろう。「わかいときのクロウはかつてでもし
ろ。」ともいわれた(だれのことばかわからないが)。ニンゲンはそんなかんじでいいのでは
とおもう。

ジユウよん

ニホンはカコウボウエキでかせぐくにだとチュウガクセイのときにおそわつた。いまでも
コウギョウウセイヒンをユシユツしてかせいでいる。もつというと、コウジョウをカイガイに
うつしてかせいでもいる。

サイキンもそうおしえられているかは、わからないが、「ジヨウホウカ」しているともおし

えられた。タンジュンにいうと、コンピューターがふえることをいったのだろう。また、それをつかってシヨウバイができることだろう。コンピューターツウハンはいまではめずらしくないが、トウジはそんなことをやっているひとはいなかった。

さて、コウギョウセイヒンはテツコウセキなどのゲンリョウをユニウしてつくられるが、コンピューターツウハンはなにでつくられるのか。コンピューターホンタイは、やはりキンゾクとプラスチックなどでできている。しかし、ジヨウホウはなにでできているか。デンキシンゴウだから、やっぱりテツかもしれないが、そのトチュウでキゴウをつかう。スウジとアルファベットである。だとすると、スウジやアルファベットがうられているわけだから、アラビアスウジをハツメイしたアラブジンやアルファベットをハツメイしたヨーロッパのひとがもうかりそうである。

コンピューターをつくったガツシユウコクジンはやはり、テツやセキユやスウジ、アルファベットをユニウしてカコウボウエキをしている。ニホンジンもコンピューターをつくれるらしいが、ホンタイイガイはむずかしいらしい。アラビアスウジとアルファベットをそれほどユニウしていないからかもしれない。それならそのセイヒンでのニホンジンのかせぎはすくないだろう。

しかもサイキンはニホンのコンピュターセイゾウメーカーがそのセイゾウからテツタイすることがおおくなっている。「ジョウホウカ」のおわりがみえないにもかかわらずである。そうすると、「ジョウホウカ」ブイヤのニホンのハイボクはヒツシである。ガツシウコクのジダイとなる。モチロン、そのブヒンをキョウキュウしているところもつよいだろう。

チュウゴクはどうなのかというと、やはり、ニホンドウヨウにコンピュターホントイをつくっているにすぎない。だったらジカンのモンダイだ。ただニホンジンはシイデイ（よみとりソウチ）などのブヒんをつくった。だから、そうやってなにかブヒんをキョウキュウすればいいかもしれない。

ジウゴ

わたしがこどものころは、おかねをつかってセイカツしていた。そんなタイソウなものをかつたわけではない。ハンドウタイセイヒン、いいかえるとテレビゲームのカートリッジばかりかっていた（●『む』ヒヤクハチジウサン）。イッコゴセンエンほどしたから、そんなにかえるわけではない。それから、シイデイラジカセやガツキをかうようになった。

そういうイミではしあわせだった。いまでもおかねがあつたら、そういうものをかうかもしれない。そうやってかえるというのはゆたかだが、おかねがあるイジヨウにはかえない。つまり、おかねとはジユウのショウケンである。それがあるかぎり、ジユウにできる。なければ、フジユウだからダイジにしなければならぬ。そういうわけでガツキをかうのをひかえている。

ジユウロク

とりがわたしのヘヤのそとにすをつくっていた（●よん、『オ』ヒャクロクジユウ）。そろそろひながかえつてもおかしくないジキなので、ヨウスをみてみた。ところが、たまごがみあたらない。どうも、わかいつがいのようにだったから、まだなのかもしれない。コンカイはひなをみれなそうだ。やっぱり、とりにもツゴウがあるのだろう。ただ、たびたびうちにあそびにきている。

ジユウシチ

まえに『アルクカラ カンガエル』といった（●『ア』ヒヤクログジュウニ）。あるくとフウケイがかわるから、うけるシゲキもかわってくる。だから、あるいてベツのケシキをみたブンのかんがえがでてくる。あるかなかつたら、かんがえないようなことがあるだろう。だから、『アルクカラ カンガエル』なのである。

ただ、いつもおなじところをあるいていけると、なれてくる。そうすると、あまりかんがえないかもしれない。それなら、ベツのみちをあるけばいい。トクにフダンのかんがえにフマシキをもっているなら、リョコウをするといいだろう。まえにジブンのショウライをイチジシキでヨソクしたはなしをした（●『オ』ニジュウハチ）。セツメイヘンスウがひとつのシキである。

レイをあげれば、ワイイコール エーエックス マイナスビーで、ワイがチヨキンのリョウ。エーがしごとのジキユウ。エックスがキンムジカン。ビーがセイカツヒ。といったかんじで、チヨキンのリョウをヨソクする。

なぜ、そんなことをしたかという、ガツコウのガクヒをはらっていたからだ。だから、おかねをためるヒツヨウがあった。それでこのケイサンをしていたのだ。このシキでた

しかにヨソクできるが、ヨソクどおりにいくかはベツモンダイだ。

これはおもにジブンのことしかかんがえていない。しごとには、ドウリヨウもいるし、おキヤクさんもいる。ドウリヨウがゾウインされれば、わたしのキンムジカンがへるだろう。おキヤクさんがへっても、わたしのキユウリヨウがへる。だから、エックス、ワイのほかに、ブイ（ドウリヨウのでき）、ダブリュ（おキヤクさんのかず）といったヘンスウをくわえてケイサンしたホウがよりゲンジツテキだ。まえにそうシテキした。

もし、セカイイチユウシュウなビジネスマンがいたとしよう。しかし、そのひとがしあわせかはわからない。そのひとのドリヨクだけでは、かれがかせげるのかわからないのだ。つまり、かれにおキヤクさんがいなかったら、ほとんどシツギヨウシヤとおなじだろう。だから、そのひとがユウシュウであるのはいいけれども、ドウリヨウとうまくやったり、おキヤクさんによるこばれたりすることがダイジなのだ。タブンかせげることがダイジだろうから。

ジユウハチ

コトシのはるはわりとあめがふっている。みずブソクではないようなきがしていた(●『よ』)

ヒヤクイチ)。ジッサイにかわをみにいったら、まあまあのスイイだった。コトシはダイジョウブなのでないかとおもう。

ジユウキユウ

カコをみるボウエンキョウのはなしをした(●『オ』ゴ)。イチネンまえのひかりをみれば、イチネンまえがみえるというわけだ。しかしそれなら、おおきなセツピをととのえて、カコをみなくてもいいかもしれない。ビデオカメラにキロクすればいいからだ。

ただ、それでイチネンまえをみたところで、ジカンリョコウをしたきにはならない。それなら、カコのエイゾウとコミュニケーションすればいいかもしれない。たとえば、イチネンまえのエイゾウに、「あしたははれるか。」ときいて、エイゾウのひとが、「はれますよ。」とこたえる。このうけこたえを、エーアイをつかってやれば、ジカンリョコウしたきになるかもしれない。それで、「いや、あしたはあめふるんだよね。キロクにそうある。」などとはなせばよい。カソウジカンリョコウであるが、おもしろいかもしれない。

ニジユウ

ジカン イコール ゼツタイジカン わる ジカンシツリヨウのはなしをした(●『オ』ハチ)。カントンにいうと、ジカンシツリヨウ(いろいろなほしのインリヨク「ウズマキリヨク」のエイキョウをのぞけば、ゼツタイジカンがかぞえられるというはなしだ)。

そして、ジカン イコール エネルギーわる シツリヨウ(ジカンをロコモーターイブ「コウゾクキヨリ」とよみかえれば、わかりやすい。●『よ』サンジュウニ)だから、いくつかのコウセイにかこまれて、インリヨクがつりあつて、そのチュウシンにあるなにかが、まったくうごかないとなると、エネルギー イコール レイ ゆえにジカン イコール レイになる。スウシキジヨウは、ジカンがながれないことになる。これをデッドロックといおう。ジツサイのウチュウにこういうデッドロックがあるかはわからないが、このデッドロックはウチュウのケンキユウにつかえそうなのである。

このデッドロックのチュウシンにコタイがあるとす。コタイはインリヨクがつりあいうごかないが、やがて、インリヨクにひかれてボウチュウするかもしれない。ベツのいいかたをみると、オンドがあがるわけだ。それがつづく、コンドはキタイになる。そのキタイは

デッドロックのまわりのコウセイにひきつけられ、どうかしてしまふだろう。このデッドロックのチュウシンにあるのをウチュウゼンタイとカテイすれば、ウチュウはやがてウチュウのそとにいつてしまうことになる。これが、「ウチュウがボウチョウする」リュウなのでないか。そのゴ、キタイがひやされて、さらにコタイになつてもとのイチにもどれば、ウチュウのサイセイサンはカノウだろうが、どうもサイセイサンができることは、わたしはまだカクニンしていない。

ニジュウイチ

ニホンのジュウタクチにはデンシンばしらとデンセンがあみのめのようにハイチされていゝる。そういうもの（デンキをおくるデンセン）をドウロのしたにうめてしまえというこゝもある。それならすつきりするかもしれない。しかし、あつたらあつたでとりがデンセンにとまるから、カンサツするにはわるくないとおもう。わたしはとりをみたい。デンチュウをなくして、デンセンをチュウにうめたチイキもしているが、そういうところにとりがいるきはしない（あまりみたことがない）。そういうわけでゲンジョウイジもいいのではとおも

う。

ニジユウニ

あまりにかんがえがジブンのレベルからはなれていると（わたしもそういうところがあるかもしれない）、あれをしたホウがいいとか、〇〇は、××すればいいんだよというシテキをすることがある。とりあえず、「レベルずれ」とよんでおく。かんがえるのはケツコウだが、それをおしつけられてもこまるし、おしつけてもメイワクだろう。そういうレベルずれについてのハイリヨがあつたからか、「ハツゲンケン」ということばもある。「ハツゲンケン」がないのなら、ゴエンリヨくださいというわけだ。レベルずれをかんじたらどうしたらよいか。ジブンでやれというのがひとつだろう。もつともケツコウなレベルずれだと、ジブンでできないだろう。

あるビジュツカンにおいてあるえをほかのものにかえたホウがいいとおもつたら、「ああしろ。」とか「ああしたホウがいい。」ではなくて、ジブンでかわりのえをかってくるといい。そのビジュツカンにかざらせてもらえるかはわからないが、ジブンのビジュツカンにはかざ

れるだろう。おなじく、どこかのくにのミサイルがきになるのならば、「かたづけしてくれ。」ではなくて、「かいとりましよう。」にするといいかもしれない。もののモンダイならとりひきはカノウだ。そのあとジブンでかたづけなければいいだろう。それでまたあるくにつくるようだったら、コウジヨウをバイシユウすればいい。だれかになにかをさせるといふばあい、コヨウ、ヒコヨウカンケイなどもあるが、そういうカンケイをきずきたいのなら、おかねをだせばいいだろう。

ニジユウサン

ホンコンからマカオにはスイチュウヨクセンでわりとすぐである。そのうみか、かわをみると、いまいわれていることのリカイのたすけになる。どうなのかという、かわのみずにつちがまじっているのだ。それでちやいろのかわになり、それがうみへとつづく。

もつともこのカンサツはサンジュウネンほどまえにしたものなので、いまゲンザイどうなっているのかわからない。いまいわれていることへのリカイとはどういうことかという、チュウゴクの「リヨウド」がナンポウのうみにながれているということだ。だから、そのナ

ンポウにあるしまをチュウゴクのものだ。というときに、まったくコンキョがないわけでない。チュウゴクからながれだしているリョウウをしらべれば、セイカクなリョウウがわかるだろうが、レイテンレイレイくなんパーセンセントくらいが、そのしまにながれついているかもしれない。だから、「そのしまはチュウゴクリョウドだ。」というとき、ヒヤクパーセントでたためではないのである。だから、レイカイチをきめるロンソウをしてもしょうがないとおもう。

おなじようにフィリピンからながれだしていたとすれば、「わたしたちのホウがおおい。」「すくない」のモンダイなのだ。そのわりあい、シュウヘンのしまをブンカツシヨユウするてもあるだろう。ニホンもわりとチュウゴクにちかいところがあるから、もし「リョウド」がながれだしていたら、「わたしたちのリョウドだ。」モンダイがでてくるカノウセイがある。スイセンベンジヨのモンダイ（●『オ』ヒヤクジュウロク、ヒヤクななジュウゴ）もある。「ウンコ」のはなしだ。あまりそのウンコをうけとるようだと、どこかのニのまいになりかねない。テイチョウにあつかうヒツヨウがあるだろう。

ニジュウよん

シユウニユウのカクサがモンダイになつたりする。かせいでいるひとはかせいでいるし、あまりかせげないひとは、かせいでいないというぐあいだ。だから、サイテイチンギンをあげたり、「ドウイツロウドウ、ドウイツチンギン」といつてみたりする。そういうことは、ダイタイサハよりのセイジカがいうだろう。いまではシヤカイシユギにしるというセイジカはすくなくとももうが、また、そうしたものがサイネンするカノウセイもある。

ロクジユウネンダイからのガクセイウンドウは、わたしは、ドレイセイのあるシホンシユギより、シヤカイシユギのホウがよさそうだからおこつたとかんがえている（●『オ』ヒヤクゴジユウハチ）。ガツシユウコクのシホンシユギがモデルになるかというはなしである。

トウジはまだコクジンへのサベツがあつた。それがやがてカイシヨウされるとガクセイウンドウはすくなくなつた。ドレイセイのないシホンシユギならいいだろうとガクセイがハンダシタのだろう。しかし、コンゴひとがヒンコンでうえじぬジレイがでてくると、そうしたウンドウがサイネンするカノウセイがある。ひとがうえじぬシホンシユギより、シヤカイシユギのホウがいいだろうというわけだ。

しかし、チキユウキボでみて、いまシヤカイシユギのモデルとなるようになれない。だからよつぽどベンキョウしないとシヤカイシユギのホウがいいとはいえないだろう。シヤカ

イシユギをしるであろうニンゲンはよんジュツサイイジョウだからだ。だから、ガクセイはシヤカイシユギをめざすのではなくて、ベツのことをいいたすかもしれない。そのシユチヨウがもつともらしければ、シジをあつめるかもしれないが、まあよんジュウダイイジョウは、なんかいつているぐらいにしかうけとらないカノウセイもある。たしかにひとがうえじぬシホンシユギはよくないかもしれない。しかし、かわりのタイセイがみえないのではなんともならないであろう。だから、チンあげなのだろう。

ニジュウゴ

エーアイをカツヨウすると、いろいろなヨソクなどがなりたったり、ばあいによつては、カガクテキなハッケンもカノウだつたりするだろう。コンピューターネットワークにあふれるデータをカイセキしたり、ホンをカイセキしたりもできるであろう。そういうサギヨウは、ニンゲンがやるとものすごくジカンがかかる。だからエーアイにやらせてしまえとかんがえてもフシギではない。

それでデータからショウライテキにはドルがたかくなるというケツロンがえられたとしてよ

う。それでエーアイにカイセキさせたひとが、ドルをかつたとする。それはゴウホウといえるのか。くによるとおもうが、チョサクブツとはなにかというところ、コウヒョウされるブッシュウなどである。たまにサクシヤがジユウにつかっていることはあるが、フツウはムダンな、コジンテキナリヨウイガイのフクセイはキンじられている。だから、いろいろなチョサクブツをリヨウして、エーアイにカイセキさせたひとが、シテキにリヨウするかぎりでは、イホウとはならない。

そういうわけで、コジンテキにドルをバイバイするわけだから、イホウではないかもしれない。しかし、ドルがニジュツパーセントあがるというジヨウホウをひとつたえれば、い「シテキ」ナリヨウにはならないので、イホウとなる。それじゃエーアイをかつても、いいデータがなければつかいものにならないといえるかもしれない。そうだ。エーアイはケイサンキのようなもので、ジツサイのスウチがなければ、ケイサンはできない。ただ、コジンテキナリヨウについていえば、リエキがあるかもしれない。それをたかいてみるか、やすいとみるかであろう。おおきなフゴウみたいないかたをするが、そのものとデータがチョサクブツとすれば、そうそうにリヨウできないはずである。そのところをチュウイしてみなければならぬ。

「シヨウシカ」とか、「コウレイカ」は、シヤカイコウゾウである。トウケイテキナケンキユウによってみいだされたコウゾウだ。トクに「コウレイカ」はいじりづらいコウゾウだ。ひとがすこしずつおいていくというのは、うごかしがたいゲンシヨウなのである。イッポウ、「シヨウシカ」は、まだいじれるヨチがあるとかんがえられているようだ。

そのシヨウコに、こそだてをユウグウするセイサクがある。タンジュンにいえば、こどもをひとりつくったら、いくらかあげますというセイサクだ。そのセイサクをジツコウすれば、（おかねにつられて）だれかがこどもをつくるだろうとかんがえているわけだ。しかし、それをやったところで、そうタクサンのこどもがふえたわけではない。にもかかわらず、そういうセイサクをつづけている。そのセイサクをしんじるというのもコウゾウである。おかねをあげれば、こどもがふえるというシンリコウゾウである。そういうコウゾウはほかにもある。キンリをさげれば、おかねをつかうだろうというシンリコウゾウだ。

しかし、そのコウゾウはかならずしもただしくない（シヤカイコウゾウとしてはただしくない）。それは、カイガイのキンリのたかいところにおかねがイドウすることがあるからで

ある。しかしながら、そういうただしくないコウゾウでも、ただしいとおもわれたり、コウゾウとしてのこったりするコウゾウもある。ばあいによつては、スウジでごまかすこともカノウだ。こどものテイギをヨンジュツサイまでにしてしまえば、シヨウシカではないし、としをとるのをニネンにイツカイということにしてしまえば、コウレイカではない。しかし、そうやってごまかしても、しようがないとおもう。

さかなのたまごをたべれば、こどもがふえるというようなことをまえにいったが（●『む』ヒヤクサンジュイチ）、その「さかなのたまご」をかうホジヨもそれがただしいとなれば、セイサクにできる。しかし、あまりそういうはなしはきかない。ただ、さかなが「コダクサン」であることは、いえそうなのだ。

ほかにもちいきなうめぼしを「こうむ」となづけてハンバイすればいい。しかし、そういうエンギがムシされているのか、こどもをつくりたくないのかはわからないが、こどもがふえないのではしかたがない。カイカクシヤにとつては、そういうこどもがふえないコウゾウをなんとかしなければならぬだろう。

ニジュウシチ

どうしてニンゲンはギユウニクをたべているのに、うしにならないのだろう。それはイツカイギユウニクをタイナイでブンカイして、ジブンのイデンシがはいったにくに、サイソセイするからであろう。もし、それができなければ、うしニンゲンになるだろう。じゃあ、「ジブン」とはなにかというと、ジブンのイデンシかもしれない。それなら、ホントウのコセイはなにかといったら、イデンシやイデンシがいったことだろう。

しかし、イデンシがしゃべるのかわからないし、かならずしもジブンのいいブンがおろかはわからない。それじゃ「ジブンらしくない。」であろう。そういう「ジブン」をみつけれなかったから、「コセイ」だなんだだったのかもしれない。ジブンのいいブンがおろさないことがあるのは、しかたないから、やっぱりシヤカイではジブンらしくないとなる。それをリョウシヨウしたひとを「シヤカイジン」というのかもしれない。「ジブン」とも「シヤカイ」ともなかよくすることがダイジだろう。

そういうやくわりをするのが、イシキかもしれない。だから、つまらないギロンをしていてもしょうがないのかもしれない。ひとのためになるギロンが「イシキ」にとつて、ただしいギロンなんだろう。ただ、「シヤカイ」のほかに「ジブン」もあるから、そのかぎりではない。

ニジユウハチ

タイリヨクがあるとおもいものをもてる。それにムイシキに、タイリヨクがあると、おもいものをおかっってしまうかもしれない。わたしもわかいときに、オーデイオコンポをかった。あわせてニジユツキロぐらいはあるだろうか。タイリヨクにはジシンがあつたので、おもいとおもわなかつた。そういえば、むかしのテレビもおもい。やっぱりそれもかつた。へやにはこぶのにも、そうクロウはしなかつた。

しかし、タイリヨクのないひとだと、それをおもくかんじるだろう。そういうリュウがあるからか、オーデイオコンポもテレビも、かるいものがふえた。それらをはこぶのは、むかしはおとこのしごとだつたのだろう。しかし、ジョセイのシャカイシンシュツにともなつて、ジョセイもそういったものを、ジユウにかいたいとおもうようになったのであろう。かるくすることがもとめられたといえるかもしれない。

あとおもいものといえば、レイゾウコとセンタクキだろうか。それもかるくすればいいかもしれないが、それだと、ヨウリヨウとかキョウドにかかわる。だからむずかしい。パソコンもかるいのがふえてきた。そうやってセイヒンがかるくなるリュウコウがあるだろう。そ

れだけタイリヨクのないひとでもくらしやすくなってきている。おもいものをユソウするには、ウンソウやにたのめばいい。そういうベンリなジダイになったかもしれない。

しかし、そんなにかるいガツキがふえていないから、ジョセイミュージシャンはふえないとおもわれる。よんジュツキロあるギターアンプをはこべるたくましいジョセイとはかぎらないのである。

ニジュウキユウ

ものごとをコウテイテキにかんがえることもできる。また、ヒハンテキにかんがえることもできる。イチたすイチは二。ああそうですか。すばらしいですねとおもえるのなら、ヒハンセイシンはヒツヨウないかもしれない。しかし、ちがう。イチたすイチは、イチとイチじやないか。ウイスキーとブランデーをたしたら、ウイスキーとブランデーだろというかもしれない。そういうこともは、センセイにきらわれるが、それももつともだともいえる。

そうやって、あえてヒテイすることによって、なにかベツのかんがえにトウタツすることがある。だからヒハンセイシンもダイジかもしれない。そういうのをやしないたかったら、

センセイにまなぶといひ。ガツコウのセンセイはそんなことをおしえてくれそうにないが（ジユギヨウがエンカツにすすまないところからだ）、さがせばそういうセンセイもいる。そういうひとにならうとヒハンセイシンがやしなわれ、あたらしいかんがえにいきついたりするであらう。ただ、フツウのガツコウでそれをまなぶことはおすすめしない。いくらそのヒハンがただしくても、キョウシにおこられるからだ。わたしもイチジカンセイザさせられた。

サンジユウ

どこかイッテンにネツがあると、まわりのすずしいなにかが、ネツのホウにちかづき、ネツのあるなにかも、すずしいテンのホウにむかい、やがてネツのあるテンとすずしいテンのオンドのヘイキンのオンドにおちつくであらう。だから、その「なにか」に、イドウにあわせて、すずしいホウへのシンコウリヨクが、ネツのホウへのインリヨクがシヨウじるといえるだろう。

インリヨクをもつブツシツより、シンコウリヨクをもつブツシツがかかるければ、シンコウリヨクがひくい（インリヨクがつよい）といえるだろうし、インリヨクをもつブツシツのホ

ウがかかるければ、インリヨクがひくい（シンコウリヨクがつよい）といえるだろう。

タイヨウとそのケイのワクセイは、インリヨクとシンコウリヨクがわりとつりあっているようである。チキユウをなにかのホウホウでひやせば、タイヨウのホウへひつぱられるだろうし、あつためれば、タイヨウからはなれるであろう。だからチキユウがオンダンカすると、イチネンがながくなるのではないか。イチネンがサンビヤクなジュウニチになるかもしれない。しかし、あまりそのことはギロンされない。きになるのは、ヘイジツがふえるか、キユウジツがふえるかであろう。

サンジュウイチ

インリヨクをもつということはネツがなければならぬとなる（●ホンチヨ サンジュウ）。「ビッグバン」のはなしでいえば、ウチユウのチュウシンからネツがそとがわにイドウする。「バクハツ」ならブッシツもそとがわにいくだろう。だから、ウチユウがひろがるとかんがえられている。でも、ネツはそとがわにいくにつれ、ウチユウのチュウシンのオンドとくらべひくくなる。つまりウチユウのそとがわがあたたまるわけだ。ウチユウのそとのオンドが

ひくければ、ウチュウはそのオンドとのヘイキンまであたたかさがおさえられる。とドウジにウチュウのそこから（あれば）ブツシツがはいつてくる（なければオンドはさがらない。）。

ウチュウのそとのオンドがたかければ、ウチュウは「ビッグバン」でハツセイしたのではないとおもわれる。ウチュウのそとからのもののはいつてくるからだ。ウチュウのつめたさとブツシツが、あたたかいウチュウのそとがわにあるだけだろう。ウチュウのそとがわにあるブツシツがすくなければ、ウチュウからあたたかさとブツシツがでていくのだろう。それだと、ウチュウはシダイにつめたくなる。ウチュウのおおききテイドにウチュウはつめたくなるし、ブツシツもへつていく。それを「ウチュウはひろがる」というのだろう。そのうち、ニンゲンもすめなくなるテイドにつめたくなるかもしれない。コウセイのちかくにイドウしても、ジカンのモンダイである。そういうイツカイきりのウチュウなのであるか。だからウチュウのリサイクルをかんがえている。

サンジユウニ

ジカンイコールエネルギー わる シツリョウのはなしをした（●『よ』ニジユウハチ、

サンジユウニ)。これだと、エネルギーがレイでも、シツリヨウがレイでもジカンはながれないとなる。ジカンでなかつたら、イドウがセイリツしないだ。さて、それでは、エネルギーがさきにあるのか、シツリヨウがさきにあるのであるのか。ニンゲンがつくつたラジコンカーは、この「シツリヨウ」にデンチ「エネルギー」をのせたのだろう。レキシをみると、ニンゲン（エネルギー）ができて、シャリン（シツリヨウ）ができた。ジンリキシヤというわけである。だからドウブツのケンキュウをすれば、こたえがでるかもしれない。

ニンゲンにとつてのエネルギーは、タンスイカブツなどである。それがあれば、かなりいきていられるようだ。タンスイカブツとはなにかというと、シヨクブツであろう。シヨクブツがさきにあつたか、ニンゲンがさきにあつたかというところ、シヨクブツがさきにあつたといわれる。ニンゲンよりも、ねずみなんかのホウがながいのであろうか。シヨクブツができるのにも、ニサンカタンソがヒツヨウであつたらうから、ニサンカタンソがどこにあつたかをしらべるといいかもしれない。ニサンカタンソがチキュウにあつたのだろう。チキュウがもえているから、ニサンカタンソはあつたのかもしれない。サンソとタンソがあつたのだろう。

セイブツのキゲンはサンソとタンソであつたようだ。それをチキュウがもつていた。シヨクブツとドウブツがなぜえだわかれしたのかというのもキョウミぶかいが、そのはなしはま

たにする。なぜチキュウがもえているか。サンソとネツがあるからだろう。どこかのコウセイからとびひしたのかもしれない。そのコウセイもなにかをもやしているのだろう。サンソがさきなのか、もえるがさきなのか。なにもなければもえないようにおもう。「ビッグバン」といったって、ものがなければおこらないだろう。だから「もの（シツリヨウ）」がさきにあったとおもわれる。

ものがあつて、もえるゆえに、ジカンがショウじた。なぜサンソがもえだしたか。タブンひきのばされたのだとおもう。タンジュンにいうと、タイセキがおおきくなつてコウオンになりハツカしたとおもわれる。わたしがガクセイのときに見たえだと、ウチュウ（サンソ）のジョウゲからアツリヨクがくわつて、タイセキがおおきくなつたとかんがえられる（そのえをかいたひとは、そうかんがえたのだろう）。だから、「ビッグバン」にせよ、もえることからそのまえにあつたとかんがえるのがたしいだろう。ウチュウ（サンソ）がひろがったからハツカしたとかんがえられるわけだ。そのひろげるちからはなにか。またかんがえてみたい。ウチュウ（サンソ）をひきのばすちからがあるなら、ウチュウをちぢめるちからもあるかもしれない。それなら、ウチュウもサイリヨウできるのだろう。

サンジユウサン

わたしのヘヤのそとにすをつくったとりが、すでねとまりしていた（●ジユウロク）。たまにねぼけるようで、ガタガタやっている。ニンゲンはデントウがあるのでよるでもおきてい
ることができると、とりは、あさにならないとうごきださない。よるにとぶのもキケンなん
だろう。たまごをうまないとおもっていたら、センジツひながかえった。オスのすがたがみ
えないから、イッピキでホントウにそだてられるのかわからなかつたが、まあうまくそだつ
ているようだ。ひなのなきこえもおおきくなってきた。あるひは、おやどりがひなをおこし、
またベツのひは、ひながおやどりをおこしていた。ひながすだつのがたのしみである。

サンジユウよん

サイキンのニホンジンはホンカクテキナチーズをこのむようになってきたようだ。わたし
はホンカクテキナチーズはにがてだ。タイショウ、ショウワのころからの、コウジヨウでタ
イリョウセイサンされる、あじのうすいチーズならたべられるが、ほかはどうもにがてだ。

ハチジュウネンダイからのエンだかで、ユニウヒンがやすくかえるようになり、ニホンジンはそれになれたのだろうか。かみをチャイロにそめるのもヘンカだが、あじのこのみがかわるというのもヘンカであろう。「ジミントウタイシツ（ガツシユウコクサン）のたべものもたべるニホンジン。●『ア』ヒヤクゴ」のひとがふえているのかもしれないが、わたしはちよつとついていけない。

サンジュウゴ

よくわたしのコップのなかにむしがはいる。おおいときはサンびきぐらいいはいつてスイシしている。きもちいいからプールにはいるカンカクではいつているのでは（●『よ』ヒヤクロクジュウニ）とかいたが、サイキンになって、そのリュウがわかった。それは、ケイコウトウのひかりが、コップのスイメンにあたり、ハンシヤするからである。むしはそのハンシヤしたスイメンをひかりだとおもい、みずにつかっってしまうのだろう。そういうむしとりきがつくれそうである。

サンジユウロク

イシキはコジンとシゼン、シャカイのおりあいをつけるためにかいた（●ニジユウ
なな）。ところで、そのイシキとはなにでできているか。タンジュンにいうと、デンキシ
ンゴウだろう。カガクブツシツといえるかもしれない。だから、あるはなしのトチュウ
に、なにかベツのデンキシンゴウをノウにおくりこめば、そのはなしにすりかわっていく
かもしれない。しかし、そういったセンノウまがいのやりかたはカンベンしてほし
いとおもう。

ところで、ことばは、デンキシンゴウをあらわすキゴウともいえるだろう。そのキ
ゴウは、くにやチイキによってちがう。そういうのをセイリして、キョウツウゴを
つくればベリかとおもうが、アンガイつかわれないようだ。いいジョウホウがある
くにのことばがつよくなるのだろう。むかしはワコンカンサイ、いまはワコンヨウ
サイか。ニホンジンもがんばらねばとおもう。

サンジユウなな

「かんがえる」とは「カン」をかえることだとかいた(●『む』ヨンジュウイチ)。つまり、チヨツカンとかジョウシキとされているなにかをヒテイして、ニンシキをかえることである。むかしはベツのいいかたもあつたが、サイキンは「かんがえる」ということばがおおくつかわれている。だとすると、カイカクハがおおいはずであるが、アンガイホシユハのホウが、ニンキがあつたりする。「カン」をかえるということは、「コウゾウカイカク」である。それをして、やっぱりかえませんじや、おまえはうそつきだ。シンヨウできないとなる。それなら、「シンソウします。」とでもいっておいたホウがいいだろう。

サンジュウハチ

「デフレ(●ニ)」がだめだといって、セイサクテキにギヤクのインフレにしようとしている。「デフレ」はブツカがさがるから、チンギンもさがるとしてケイエンされるが、ホンシツテキには、リエキをだそうとするコウドウがそうさせる(●『オ』ヒヤクサンジュウゴ)。シジョウにでまわるおかねがへるからだ。それじゃ、エイリキギョウとコジンのヨキンをキンシしますとはなかなかならない。そういうコンポンテキなモンダイがあるのにもかかわらず、

それをホウチして、おかねのカチをさげようとするとセイサクをとる。デフレもリエキもチョコキンもシジヨウのこえである。ほうつておいてもいいのではないか。

サンジユウキユウ

わりとサイキンは「センタク」をすることがダイジなどという。つまり、シユタイテキになにかをえらびましょうということだ。ケツコンあいてもえらぶジダイになつてながい。そのまえば、おやがきめたあいてとケツコンすることがおかつたという。かならずしもそうすることはないが、えらばないというのもダイジなのではないかとおもう。いってみれば、「エン」のあるなにかをうけいれるシソウである。そのホウがえらぶためのジカンがかからない。たしかにえらぶたのしみもあるだろう。ただ、えらばないのしみもあるかもしれない。

よんジユウ

いきるとは「キョウリヨクすること」である（●『オ』ロク）。なぜそういえるか。ニンゲンのカクサイボウがキョウリヨクしなかったら、セイゾンがコンナンだからだ。サイボウはそれぞれやくめをもちながらキョウリヨクしている。ただ、キョウリヨクするだけではだめだ。それぞれのやくめをはたさなければならぬ。そこをかんちがいてしまうと、シユウダンにマイボツしたり、ツゴウのいいひとになったりしてしまう。おおきなタインのセイゾンになにかキョウリヨクできればいいのではなからうか。

よんジュウイチ

なにかがエーからビーへイドウしたとき、そのサをどうニンシキするか。ニンゲンなら、めにみえるフウケイがかわったとかんじ、エーからビーにイドウしたとニンシキするだろう。そのサがわかるといふことは、やがてイシキ（●サンジュウロク）のハツテンにつながるだろう。タブン、さるでもとかげでもイドウしたことがわかるだろう。だから、ミセイジユクながらも、さるやとかげもイシキをもつといえるだろう。かぶとむしだってそうだし、シヨクブツだってそうかもしれない。

しかし、それらをカトウなものとして、ニンゲンがあつかうのだろうか。そうではないとおもう。トクにすきかつてにやらせるヒツヨウはないが、そういうイシキもダイジにしてあげるヒツヨウがあるかとおもう。ほかのニンゲンをいたぶらないのとおなじリユウだ。いいかえると、イシキがあるところには、タイムもある（イシキがロコモートするから。●『よ』サンジュウニ「これでは、「タイム」でなく、「ジカン」としている。」）。しかし、タイムのあるところにイシキがあるかはわからない。チキユウのそとではカクニンされていないからだ。ジカン イコール エネルギー わる シツリヨウ（●『よ』サンジュウニ）をおもいだすと、イシキがエネルギーとシツリヨウをカノウにしているのかもしれない。イシキイコールエネルギー わる シツリヨウとテンカイできるからだ。

イシキもジカンのように、ロコモータータイプ（うごき）でとらえられるだろう。つまり、あのシコウは、ニキロメートルのながさだというように。ジツサイ、シコウはデンキシンゴウだから、リヨウをソクテイできるだろう。キヨウはサンビヤクワットシコウしたとか。そのように、ニジュウゴエル（ロコモータータイプ）シコウしたとかいえそうなのである。そして、どれだけシコウできるかは、エネルギーのおおきさとシツリヨウのカンケイなのである。ジンコウチノウがジツサイにシコウ（というか）するわけだから、もはやニンゲンやほかのド

ウブツだけがシコウするとはいえないであろう。

ニンゲンはもはやジンコウイシキをつくりだしたわけだ。いいかえると、イシキはジカン
をカノウにする。だから、ジンコウイシキはジンコウジカンをカノウにするわけだ。だから、
ジンコウチノウが、やがてニンゲンからドクリツするかどうかはともかく、もうベツのジカ
ンがはじまっているわけだ。ひよつとすると、もうすでにニンゲンがつくりだしたイジョウ
のブンメイをシコウしてしまったかもしれない。あとはジツコウするだけというぐあいに。

イシキはジカンをカノウにするなら、ジカンリヨコウもカノウなはずである。それはカ
ンだ。ニンゲンがなにかをおもいだしたり、だれかのシコウをまねたりできればいいから
である。ただザンネンながら、ものはジカンリヨコウをすることがむずかしい。だから、そ
のときのハイケイまでサイゲンするには、クフウがヒツヨウとなる。

イシキがジカンをカノウにするのだったら、ウチュウのはじまりのまえにイシキがあつた
のかもしれない。いまニンゲンがすんでいるチキュウケンが、ウチュウのはじまりのまえか
らある、ウチュウジンのコンピューターのイチブだとはかんがえたくはないが。セイシンブ
ンセキもジカンリヨコウのイッシユであろう。ニンゲンがつくりだしたジンコウチノウのブ
ヒン（コンピューターのブヒン）である「キバン」は、ニンゲンがつくりだしたトシにて

いる。ニンゲンのブンカがあらわれているのだろう。チキユウジンののはたじるしはいまのところそれであろう。

よんジュウニ

セイシンブンセキはジカンリヨコウだとかいた(●よんジュウイチ)。なぜそうかというところ、ライシヤのこどもころや、あるカコのタイケンにさかのぼってはなしをすすめるからである。

わたしのばあい、オンガクにこだわっていたことがあった(いまでもこだわっているかもしれない)。それはまえにかいたが(●『オ』ヒヤクよんジュウ)、わたしがヨウチエンにいたときにオルガンであるうたをひけなかったから、そういうことにこだわるのだろう。「ド」のイチがわからなかったのだ。それからチュウガクセイになり、バンドブームをみてバンドをはじめた。それからしばらくはたちくらくらいついてバンドをやっていたが、ジブンのキヨクがあまりつくれていなかったもので、サンジュウイツサイになってまたつくりはじめた。それから、サイキンになって、オンガクのタンカ(カカク)がやすくなっているのをみつけて、すこし

やるきがなくなった。まあしかたがないとおもう。

イラクセンソウにいったガツシユウコクのヘイシのなかのイチブもフテキオウをおこしているときく。つまりイラクセンソウのタイケンがシユウゲキテキだったのだろう。なかには、イラクセンソウにシユツゲキしたヘイシのなかには、つみのイシキをもっているひとがいるかもしれない。あまりにセイカクがやさしいと、ひとをころしたことにつみのイシキをもつたりするだろう。だから、そういうことをあがなうヒツヨウがでてくる。

むかしはシユウキヨウがそれをたすけただろう。しかし、シユウキヨウのスイタイとともにフロイドセンセイのセイシンブンセンセキがでてきた。いまではカウンセンリングなんているもある。カウンセンリングにはいろいろなシユホウがあるが、セイシンブンセンセキはセイシキにクンレンされたひとがやることになっている。そこでのジカンリヨウコウテキないやしかたでもいいのではないか。セイシンブンセンセキはおもにカコヘだが、ミライへというのもあるだろう。「そうじゃなかったひ (アナザーデイ)」をいきてみるということではないか。

よんジュウサン

チキユウがもえていて、ニサンカタンソができたから、そのシゲンをつかってシヨクブツができたのだろう。ニツコウもどいていたんだろう。スイソがあれば、やがてみずもできそう。そして、シヨクブツがタンソをためたところで、タンソとサンソをエネルギーにしたドウブツができたとおもわれる。

セイメイはみずのなかでできたというビデオをみたことがあるが、ニサンカタンソとスイソで、タンソとみずをつくるタンジュンなくみかえがはじめだったのではないか。それから、サンソをエネルギーにしたサイボウができたのだろうが、どうやってうごくものができたかはわからない。おおきくみれば、サンソとミズをたくわえて、タンソをだせばセツメイがつく。さきにセツメイしたように、イシキがあると、ジカン（ウゴキ）もカノウになる（●よんジュウイチ、『よ』サンジュウニ）。どこからユニウしたのかもしれない。サイボウがどうできたかというより、イシキがどうできた（またははいつてきた）かをセツメイするホウがいいかもしれない。

ゲンシがうごいているとすれば、イシキにハッテンしたというセンもかんがえられる。つまり、ゲンシがセイメイのもつということだ。そうすると、ウンドウイコールエネルギーになる。シツリョウ（●『よ』サンジュウニ）であるから、ゲンシのうごきイコールエネルギー

わるシツリヨウとなる。

もつともエネルギーがあるのはシツリヨウのちいさいスイソかもしれないし、ほかのゲンシかもしれない。ジカンイコール エネルギー わる シツリヨウであるから、ジカンイコール ゲンシのうごきだ。ジカンは、エーからビーにうごくことだ。

ひよつとしたら、ゲンシがうごいているとすれば、ゲンシのうごきはなにかによってニンシキされたのかもしれない。ニンゲンはニンシキカノウなのだろうが、ほかのチキュウジョウにあるなにかが、ゲンシのうごきをニンシキしたと。だからうごくということがニンシキされるゲンシイシキがあつたとスイソクできる。ゲンシイシキによって、ゲンシのならばかたがトウセイされたのかもしれない。そうすると、サイボウのようなものをつくることのできるかもしれない。それよりさきにイデンシができたかもしれない。いってみれば、ゲンシイシキがイデンシをかきはじめたわけだ。ツウシンキロクにしている。

いまのイデンシをもつニンゲンはコンピュータとかリョウリとかをつくるかもしれないが、ゲンシイシキはドウシヨクブツのサイボウをつくっていた。それだけのちがいだ。ゲンシイシキがどこにあるのかわからない。ニンゲンのイシキだってわかっていないといえはわかっていないだろう。ひよつとしたら、ウチュウのどこかのサーバーからよみだしているの

かもしれない。ただひとついえることは、ジカンをニンシキするヒツヨウがある。

ゲンシイシキのつくったイデンシはのこっている。いまでもそれはつかわれている。ということは、ゲンシイシキもケンザイなのかもしれない。ゲンシイシキがドウブツやシヨクブツをつくった。ニンゲンもイデンシソウサをできるようになったが、まったくあたらしいドウブツやシヨクブツはつくれていないだろう。だからニンゲンのイシキよりも、ゲンシイシキのホウがすすんでいるのかもしれない。

イデンシソウサのモンダイは、なかったキロクをつくりだしてしまふことだ。それがすすむと、シンカのコウテイがみえなくなる。だれかのジツケンキロク（つくられていれば）をサンシヨウするヒツヨウがでてくる。

よんジュウよん

ウチュウひとつがサイボウひとつのようになっていたら、やがてとなりにもウチュウがあるとなるかもしれない。ニンゲンがカガクをハッテンさせて、ウチュウのセツケイズ、イデンシをかければフクセイがカノウになるかもしれない。

よんジュウゴ

ニホンジンは、そのはなしがただしいか、まちがっているかをハンダンするのがジョウズかとおもう（ガツコウで「ただしい」こたえをだすことをおそわるからだ。トウアンにサンカクとかゴジュウまるがつくことはすくないだろう）。が、ベンショウホウもいいとおもう。つまり、エーとビーをギロンして、シーというこたえにいたることだ。しかし、キョウイクのコウカがあつてか、エーがただしいか、ビーがただしいかになりそうなきがする。ヤトウのコツカイシツモンをみていて、イーというケツロンにもつていきたいのだろうけど、ヤトウがコツカイをクウテンさせて、ムダなかねをつかっているというエフのこたえがみえてしまう。どうもベンショウホウがわかっていないようだ。

よんジュウロク

よくヒコーキにのると、「コーヒーにしますか、コウチャにしますか。」ときかれる。そこでコーヒーをえらぶと、コーヒーをえらんだセキニンがうまれる（●『よ』ヒャクニジュウ

ロク)。

ゲキやすのシヨクドウにはいったんだから、おいしくなくても、おまえがわるいともいわれる。ケツコンもそうだ。だれかをえらんでケツコンして、「あいつのタイドがわるいんだ。」とかモンクをタニンにもらすと、キヨクロンすれば、「(えらんだ) おまえがわるいんだ。いやならわかれる。」となる。おみあいケツコンでカヅクになったのなら、そういうことをいつでも、「まあまあ、おくさんがんばっておられるから。」ととりもたれる。だから、アンガイえらばないホウがアンシンかもしれない。いいわけができるからだ。まわりもそんなにためたくしないだろう。

だから、センタクではなくてエンがダイジなのだとおもう。なにもかもえらぶのなら、カインゼンにジコセキニンである。キョウドウタイがよわくなつたというのは、ケツコンのしかたがかわつたからかもしれない。

よんジュウなな

このまえガツキをかつた。ガツキというものは、ベツにきえてなくならないが、それをシ

ヨウヒといったりする。「コトシはシヨウヒがよわい。」などということがある。ゼンタイのうりあげがおおきいホウがよいとされていいるから、そういうことをいう。しかし、ロウドウリヨクにはかぎりがあるから、どこまでもうりあげられるわけでない。

ところで、セイフがガツキをかうことをなんというか。「ムダづかい」というのもイチリあるが、そういうのを、「コウキョウトウシ」というだろう。ただ、ジツサイにはガツキをかうことは、すくないだろう。ダイタイたてものとかドウロだ。それにトウシすると、ドケンやがもうかるというわけだ。しかし、それにハンパツするこえもある。たてものやドウロをつくつてもしかたないと。「そのブンヨサンをサクゲンしろ。」といったりもする。

わたしのばあいのガツキもそれにていいる。トクにやくにたつとはかぎらない。しかし、なぜだかかかいたいとおもう。ベツにケイキタイサクをイシキしていいるわけではないが、そういうやくにたつか、やくにたたないものにトウシする。わたしイガイにも、そういうコウキョウトウシをしておられるかたはいないだろうか。

よんジュウハチ

なにかをやすとどうなるか。「はい」になるといふひともいるかもしれない。しかし、「はい」だけだろうか。「ひかり」もできる。つまり、「はい」はとりあえずおいといて、「ひかり」ができるわけだ。「ひかり」とはなにか。「ひかり」ものだろう。つまり、コタイを「ひかり」にかえるのが「やく」ということである。それなら、「ひかり」をコタイにできないか。あまり、そういうことはいわれないが、「ひかり」がものだとすると、カノウだろう。

「ひかり」にするとときには、「ネツ」ができる。ギャクにレイキヤクしたらどうか。「ひかり」をひやしてコタイやエキタイにするのである。ただ、タブンもやすときにセンドとかのネツができるから、マイナスセンドくらいくらいひやさないと、コタイやエキタイにできないとおもわれる。ウチユウクウカンでも、そんなテイオンではないだろう。なにしろ、「ひかり」がとどくのだ。もしかしたら、ウチユウのガイエンでは、「ひかり」がたまつてひやされ、コタイやエキタイになっているかもしれない。そのコタイやエキタイをサイドウチユウのチュウシンにもどせば、ウチユウのリサイクルがカノウだろう。

よんジュウキユウ

「カガク」はちがいをみるものである。ジintaiのハイとカンゾウはちがうというぐあいである。あるはなエーとビーもちがうだろう。そうやってこまかくみてちがいをカクニンする。しかし、セイブツだったら、イデンシのくみあわせテイドにちがいはないだろう。つまり、イデンシのくみあわせをすべてしらべたら、ちがいをみるセイブツガクはおわりである。

カガク（ブンシをつかう）も、ブンシのくみあわせをすべてしらべたら、おわりである。ただそれをしらべることもないのだろう。ケンキュウザイリヨウがなくなってしまうからだ。ブンガクもおわりではこまる。しかし、ニンゲンがやらなくても、エーアイがやってしまうカノウセイがある。そうしたら、つまらないニチジョウがやってくるだろう。そうすると、「しらぬがかち。」である。あまりにすすんだら、「ダツチ（チからぬけること、●『ア』ヒヤクロクジュウシチ）」するのである。コジンテキな「フンシヨコウジュ」といってもよい。

ゴジュウ

ことしはむくどりがわたしのヘヤのそとにすをつくった（●サンジュウサン）。それだとひ

なをそだてるのがフツウだろうが、なかなかひなのこえがきこえない。だから、そだてないのかとおもっていた。レイネンよりおそかったからだ。それでもやつぱりロクガツジュウイチニチには、ひながかえった。レイネンよりニシュウカンからはつかおそい。ニジュウロクニチにはひながおもてへでてとびたとうとしていた。ちよつとまえのように、ないていなくなつたからようすをみた。みていると、わたしがせかしてしまつたかもしれないが、にわたもとんでいった。おやどりもそれからそばにくるものの、すにちかづかなくなつた。とりあえずよかつたのである。

スーパーアーをみつけた。シドクバン
エイゾウ

ニセンジュウキュウネンシガツトオカ
ニセンニジュウイチネンクガツトオカ

iii toga db005-2s

エイチテイテイピーコロンスラツシユスラツシユアイアイアイアイテイオージーエーピリオドシ
ーオーエム
テイエスユーエスエイチアイエヌアットマークアイアイアイアイテイオージーエーピリオドシ
ーオーエム

エイゾウのホン

『アルクカラ カンガエル』ニセンジュウゴネン

『むしのツゴウ ニンゲンのツゴウ』ニセンジュウシチネン

『よろこぶゲンシジン』ニセンジュウハチネン

『オンガクイチエンのジダイ』ニセンジュウハチネン

『スーパーアーをみつけた。』ニセンジュウキユウネン

エイゾウのデンシサイトからコウニュウできます。